

財部高校跡地を新たな畜産拠点へ vol.5

市は、鹿児島大学と連携し財部高校跡地へ南九州畜産獣医学拠点の誘致および整備を計画しています。2月25日開会の曾於市議会定例会へ南九州畜産獣医学拠点事業（地方創生エリア・産業動物飼育エリア）の予算を提案しました。今後、議会にて審議が行われます。

20 億 800 万円の事業費を議会に提案（令和3年度補正予算）

南九州畜産獣医学拠点（地方創生エリア・産業動物飼育エリア）事業予算額（案）

項目	説明	予算額（単位：百万円）
工事請負費	牛舎等新築工事 / 研究・教育連携棟改修工事 / 造成・外構工事 / 通信インフラ等整備工事 / プール等解体工事 など	1,987
関連経費	工事監理業務委託料 / 確認申請等手数料 など	21
合計		2,008

財源について

今回の事業予算額は約 20 億 800 万円としています。本事業は「曾於市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけられた事業で国の交付金・地方債・企業版ふるさと納税などの財源を活用し整備する計画です。

事業予算額 2,008 百万円

国からの交付金 995 百万円	地方債 995 百万円		一般財源	企業版 ふるさと納税
	交付税措置 497.5 百万円	市負担 497.5 百万円		

※上の図はイメージです。

※数値は予算額（案）であり今後の状況により変動する場合があります。

市の実質負担

総合戦略と国からの交付金

本事業を実施するにあたって、市は国の地方創生拠点整備交付金の活用を計画しています。この交付金は地方版総合戦略に位置づけられた事業のうち、地方創生という観点から未来への投資の基盤となることを明確にしている施設整備などが対象となります。

地方債

地方債とは地方公共団体の借金のことです。今回借り入れを計画している地方債は、今後市が返済する元利償還金の 50% が国から交付税措置されることから、実質的な市の負担は事業費の 4 分の 1 の約 5 億円となる見込みです。

企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税とは、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が行う寄附のこと。寄附額の最大9割が法人関係税から控除される仕組みで、正式には「地方創生応援税制」といいます。

令和3年3月31日に「曾於市まち・ひと・しごと創生推進計画」が国から認定され企業版ふるさと納税に取り組むことが可能となりました。

今後の工事計画（地方創生エリア・産業動物飼育エリア）

年	月	内容
令和4年	4月～5月	・工事設計完了 ・工事請負業者選定・入札 ・住民説明会実施 ※
	6月	・工事請負業者決定
	7月	・工事開始
令和5年	3月末	・工事完了予定

※住民説明会では、工事概要や工事期間などの詳細を説明します。日程が決まり次第、そおグッドFMや市ホームページなどでお知らせします。

拠点事業を活用した市の取組施策（案）

南九州畜産獣医学拠点を活用し大学および牛・馬の飼養業者と連携した市独自の地方創生関連事業に取り組みます。

財部駅～拠点施設までの活性化

- ・民間所有の空き店舗活用
- ・駅、市街地と拠点施設とのスマートモビリティ導入の検討

次世代型農場で研修などの受入れ

- ・和牛一貫飼育環境下での研修
- ・次世代閉鎖型畜舎での飼養技術研修の受入れ

修学旅行誘致

- ・体験型修学旅行を誘致
（子牛への哺乳体験や乗馬体験）

空きスペースの活用

- ・レンタルオフィスへ入居企業の誘致
- ・入居企業と地域企業の事業連携
- ・チャレンジショップスペースの整備

講義室など空き時間の活用

- ・畜産農家などへ向けた研修会や家畜防疫講習会などの実施
- ・大学の市民講座などを地域の方へ提供

連載終了によせて

『財部高校跡地を新たな畜産拠点へ』では日本で初めて畜産獣医学を専門とする施設整備について、5回にわたる連載で事業内容をお知らせしてきました。令和6年の施設利用開始に向けて準備を進めていきます。

お問い合わせ 企画課 地域創生推進室 ☎ 0986-76-8802
財部高校跡地対策係

過去の記事は
こちらから

